

5月の気温は平年並か高い見込み

6月10日までに茎数の確保を！！

そのために**健苗移植・適切な水管理・ワキ対策**を徹底！

1 今後の天候

仙台管区气象台が4月30日に発表した、東北地方日本海側の向こう1か月(5月2日～6月1日)の予報によれば、平年に比べ晴れの日が多く、**気温は平年並か高い**、降水量は平年並、日照時間は平年並か多い見込みです。

2 移植前後の管理 健苗づくりの仕上げ+田植え後の丁寧な水管理

適正穂数を確保するために、まずは初期茎数を着実に確保していきましょう。

当面の目標①:6月10日までに茎数を移植時の3倍に！

育苗後期

- ・苗の給水量・蒸散量が多くなるので、**朝のうち十分に灌水**
- ・移植1週間前からハウスやトンネルを昼夜開放して苗を**外気に順化**

移植期

- ・適期は5月10日～15日頃
- ・**天気の良い日**がベスト。低温や強風の日はNG

移植の晩限 つや姫 5月20日 雪若丸 5月25日

- ・適正な植付け・・・坪当たり70株 株当たり4～5本 植付深3cm (; ㇏) 深植えは活着の遅れ・分げつ発生停滞を助長

移植後

- ・移植直後は4～5cmの**深水管理**・・・苗が植え傷みから回復して早く活着
- ・活着後は2～3cmの**浅水管理**・・・分げつ発生順調
- ・分げつ発生には「**昼高夜低**」の**水温管理**も大切・・・昼間は止水して水温を高め、早朝か夕方に入水 (° ㇏) ! **強風や低温時**は稲を保護するために一時的に深水管理

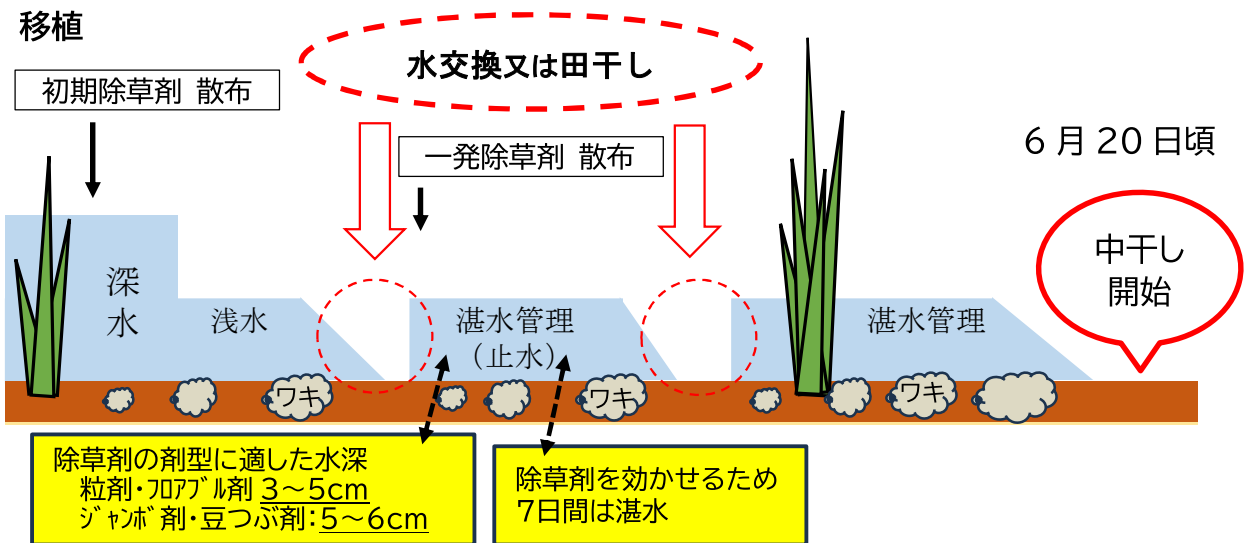
初期生育確保

田植え後はキメ細かな水管理により、効果的な除草と初期生育の確保につなげましょう！(裏面参照)

今年は耕起期間中に晴天日が多かったため、乾土効果は平年より大きいと予想されます。初期生育を確保しながら、**生育過剰**にも注意しましょう。

3 ワキ対策 & 除草効果をも高めるための水管理

当面の目標②: 一発処理除草剤散布前、5月中に水交換または田干しを実行!



- ・ワキ(土壌還元)は湛水条件下で**必ず発生**し、高温・多照により助長されます。5月下旬~6月上旬頃は好天で推移する傾向にあるためワキの程度が強まります。
- ・稲わら腐熟が不十分な圃場や減水深の少ない圃場、あるいは無降雨が続く場合、ワキの程度はより強まります。
- ・ワキの程度が強いと**根傷み**が生じ、地上部の生育に影響が現れます。追肥をしても、傷んだ根は養分・水分を吸収できません(生育回復後に肥料分が吸収され、1穂数過剰や玄米タンパク増加などのおそれも…)

ワキ対策不十分: 根いたみ 葉色低下 分けつ停滞 (**;)

ワキの程度	対策
水田に足を踏み込むと	気泡の発生が多い 盛んに気泡が発生する
晴天時自然に気泡が発生し、音が聞こえる	水交換 夜間落水 田干し



根傷み解消 葉色回復 分けつ促進 (^<^)

酒田普及課 LINE

- ◎生育状況、作業適期
- ◎緊急技術対策 など
- タイムリーに情報発信中!



↑友だち追加こちら

「友だち追加」お願いします!

やまがた米づくりナビ



- ◎食味・収量点検マップ
- ◎適期作業カレンダー
- ◎穂肥診断マップ
- ◎刈取適期判定マップ



5月8日からサイトが移行します
ブックマークの再登録をお願いします

HPこちら

詳しくは JA 又は酒田農業技術普及課へ

STOP! 農作業事故

春季農作業事故防止運動強化期間 4/1 ~ 6/10